

## 1) 検証

### ① 特に暑く感じる場所

調査員が特に暑く感じた調査地点として、評価スコアの高い上位 12 地点を示した。

特に暑いと感じる地点の評価理由としては、「日影がない」が全ての地点で挙げられていた。

歩行者が通行する際、特に暑いと感じられる場所は、日影がなく、アスファルトの照り返しがあるような場所であることが確認できた。

表 6-16 特に暑く感じる地点のスコア上位 12

地点	スコア	写真	地点	スコア	写真
4-8	3		3-17	2.8	
3-5	2.9		1-1	2.7	
4-6	2.9		1-9	2.7	
1-10	2.8		3-7	2.7	
2-6	2.8		3-8	2.7	
2-9	2.8		3-10	2.7	

## ② 暑さが和らぐと感ずる場所

調査員が「暑さが和らぐ」と感ずた調査地点として、評価スコアの低い 12 地点を示した。暑さが和らぐと感ずる地点の評価理由としては、「日影がある」「緑陰」「ビル陰」など影の存在が全ての地点で挙げられていた。

また、「風が吹いている」ことを評価理由として多く挙げられていることも確認でき、ドライ型ミストが設置されている場所については、評価理由として「ミスト」が挙げられている。

このように、暑さが和らぐと感ずる場所は、日影や風、ミストなど、涼感を明瞭に感ずられる対象がある場所であることが確認できた。

表 6-17 暑さが和らぐと感ずる地点のスコア上位 12

地点	スコア	写真	地点	スコア	写真
4-2	1		4-19	1.1	
1-3	1.1		1-0	1.2	
2-12	1.1		1-7	1.2	
3-1	1.1		1-13	1.2	
4-9	1.1		1-14	1.2	
4-17	1.1		1-15	1.2	

### ③ ヒートアイランド対策実施箇所との関係

「①特に暑く感じる場所」、「②暑さが和らぐとを感じる場所」の上位12位の地点において、ヒートアイランド対策実施箇所との関係を検証した。

ヒートアイランド対策実施地点は、暑いと感じる地点において5地点、暑さが和らぐと感じる地点において4地点となった。

遮熱性舗装などのヒートアイランド対策を実施していても日影がない場所では暑いと感じる結果となった。一方、ヒートアイランド対策を実施していない地点であっても緑化などにより日影がある地点では暑さが和らぐと確認できた。

表 6-18 特に暑いと感じる地点の対策状況

地点	スコア	対策の有無	内容
4-8	3.0		
3-5	2.9		
4-6	2.9		
1-10	2.8	○	隣接する車道が遮熱性舗装
2-6	2.8	○	隣接する車道が保水性舗装
2-9	2.8	○	隣接する車道が保水性舗装
3-17	2.8		
1-1	2.7		
1-9	2.7	○	隣接する車道が遮熱性舗装
3-7	2.7	○	隣接する車道が遮熱性舗装
3-8	2.7		
3-10	2.7		

注1) 対策の有無

○ : 調査地点またはその付近にヒートアイランド対策実施箇所がある。

空欄 : 調査地点またはその付近にヒートアイランド対策実施箇所がない。

表 6-19 暑さが和らぐと感じる地点の対策状況

地点	スコア	対策の有無	内容
4-2	1.0	○	隣接する車道が保水性舗装
1-3	1.1		
2-12	1.1		
3-1	1.1		
4-9	1.1		
4-17	1.1	○	隣接する車道が保水性・遮熱性舗装
4-19	1.1	○	隣接する車道が保水性舗装
1-0	1.2	○	隣接する車道が保水性舗装
1-7	1.2		
1-13	1.2		
1-14	1.2		
1-15	1.2		

注1) 対策の有無

○ : 調査地点またはその付近にヒートアイランド対策実施箇所がある。

空欄 : 調査地点またはその付近にヒートアイランド対策実施箇所がない。

#### ④ 暑さ指数 (WBGT) ・気温との関係

調査員が感じた暑さの感じ方の評価と、調査時に測定された暑さ指数 (WBGT) および気温との関係を示した。

暑さ指数や気温と、暑さの感じ方評価の関係は、 $R^2$  値が小さく相関性が低いと評価できた。

暑さ指数や気温が  $30^{\circ}\text{C}$  以上でも暑さが和らぐと感ずる場所があることなどから、暑さの感じ方は、暑さ指数や気温の高低よりも、日影やミストといった視覚的に涼感を感じられることや、風の有無が大きく影響することが確認できた。

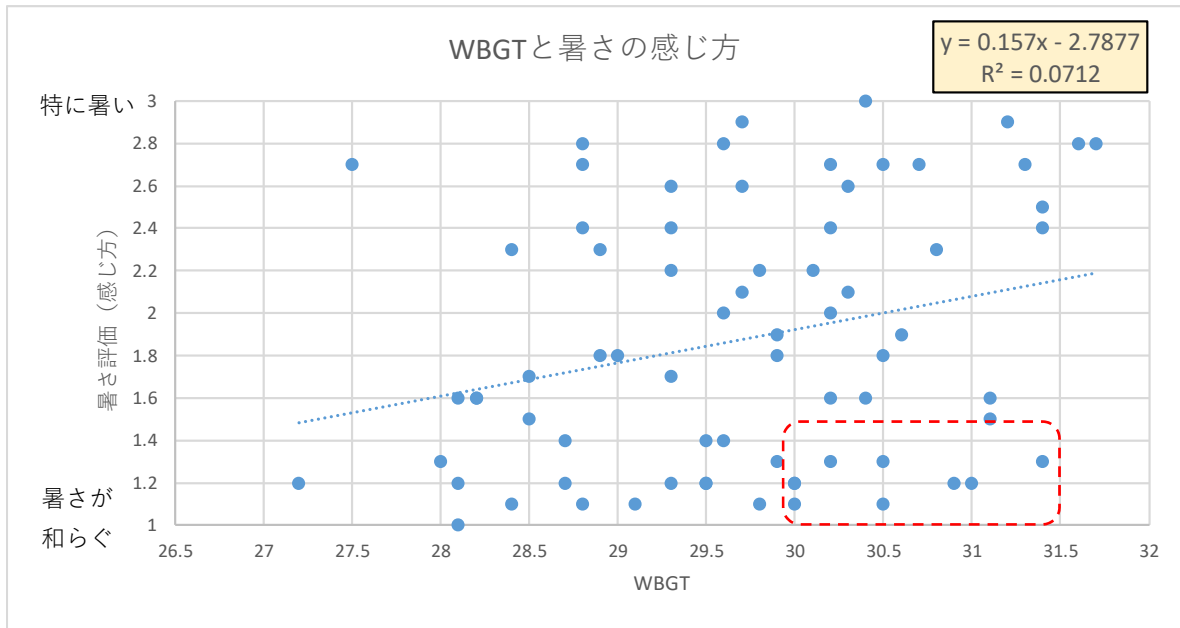


図 6-17 暑さ指数 (WBGT) と暑さの感じ方評価の関係

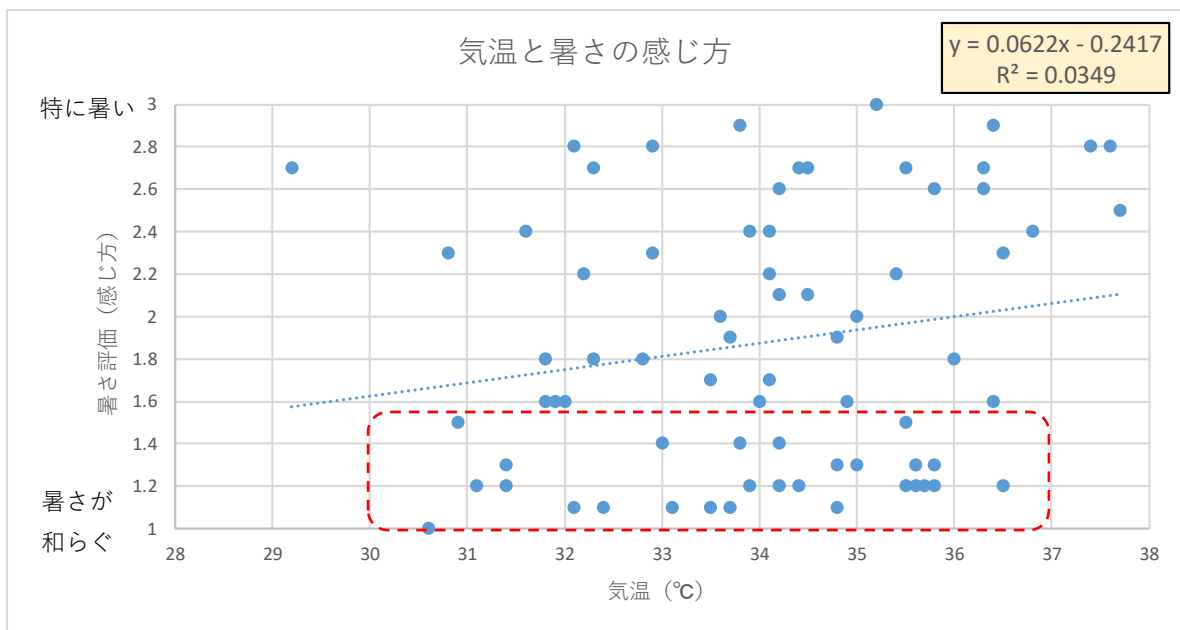


図 6-18 気温と暑さの感じ方評価の関係